

2021年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2021年1月27日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <https://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長 CEO

氏名山田義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長

氏名大上高充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向けウェブおよび電話説明会 1月27日開催)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日 ~ 2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	469,570	△5.8	42,437	5.8	46,779	10.6	33,912	△52.2
2020年3月期第3四半期	498,301	△7.6	40,098	△19.1	42,300	△7.3	71,001	83.2

(注1) 四半期包括利益 2021年3月期第3四半期 41,230百万円(△46.8%) 2020年3月期第3四半期 77,538百万円(116.8%)

(注2) 2020年3月期第3四半期の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業(2019年10月31日に譲渡したオートモーティブ・エレクトロニック・コポネンツ・ビジネス(AEC、車載事業))にかかる非継続事業四半期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第3四半期の当社株主に帰属する四半期純利益は32,584百万円であり、これをもとに算定した2021年3月期第3四半期における対前年同四半期増減率は4.1%です。

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社 株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	168	13	—	—
2020年3月期第3四半期	345	74	—	—

(注) 2020年3月期第3四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第3四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は158円67銭です。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	767,212	564,050	561,672	73.2
2020年3月期	758,124	532,589	530,415	70.0

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末		第2四半期末		合計	
	円	銭	円	銭		
2020年3月期	—	—	42	00	84	00
2021年3月期	—	—	42	00	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	42	00
					84	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前 当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	645,000	△4.9	56,000	2.3	57,000	10.0	40,000	△46.6	198	32

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2) 当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率の算定に使用した前期(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業当期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は2.1%となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名） : 有・無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	206,244,872 株	2020年3月期	206,244,872 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,573,436 株	2020年3月期	4,306,748 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	201,699,179 株	2020年3月期3Q	205,360,463 株

(注) 2021年3月期第3四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式760,568株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 2020年3月期第3四半期の連結業績および四半期連結損益計算書並びに2020年3月期の連結業績において、2019年10月31日に譲渡したオートモティブ・エレクトロニクス・コンポーネンツビジネス（AEC、車載事業）を非継続事業に分類しています。当該非継続事業の金額は、四半期純利益、当社株主に帰属する四半期（当期）純利益、1株当たり当社株主に帰属する四半期（当期）純利益に含めています。
- 当社は、2021年1月27日（水）に投資家向けウェブおよび電話説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
EMC： エレクトロニクス&メカニカルコンポーネンツビジネス（電子部品事業）
SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(会計上の見積りの変更)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12
3. 補足情報	P. 13
(1) 連結業績概要	P. 13
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 14
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均為替レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均為替レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月～12月)における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により厳しい状況が継続しました。第3四半期(2020年10月～12月)に入り、感染拡大を早期に抑え込んだ中国の市況回復が顕著になり、その他のエリアでも事業環境の改善が見られました。そのような中、IAB(制御機器事業)は、中国を中心とした製造業の設備投資再開の動きを的確に捉えました。HCB(ヘルスケア事業)は、血圧計や体温計の旺盛な需要にオンラインチャネルの強化や生産能力の増強などで対応しました。これらの結果、第3四半期の当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間(2020年4月～12月)では、売上高は前年同期比で減少しましたが、売上総利益率は、付加価値率向上や生産性向上などに継続して取り組み、過去最高となりました。また、期初に計画した年間200億円規模の固定費削減を前倒しで完遂しました。これらの結果、営業利益は前年同期比で増加しました。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	4,983億円	4,696億円	△5.8%
売上総利益 (売上総利益率)	2,252億円 (45.2%)	2,139億円 (45.6%)	△5.0% (+0.4P)
営業利益 (営業利益率)	401億円 (8.0%)	424億円 (9.0%)	+5.8% (+1.0P)
継続事業 税引前四半期純利益	423億円	468億円	+10.6%
当社株主に帰属する 四半期純利益	710億円	339億円	△52.2%
米ドル平均レート	109.1円	106.2円	△2.9円
ユーロ平均レート	121.3円	121.8円	+0.5円
人民元平均レート	15.7円	15.3円	△0.4円

(注) 2020年3月期第3四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第3四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益は326億円であり、これをもとに算定した増減率は+4.1%です。

○ セグメント別の状況

IAB(制御機器事業)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	2,654億円	2,529億円	△4.7%
営業利益	407億円	419億円	+3.0%

<売上高の状況>

中国での需要拡大に加え、グローバルでも設備投資再開の動きが見られ、半導体、二次電池、スマートフォンなどの設備投資需要が増加しました。従来から強化してきたオートメーションセンタやSEを活用し、これらの需要を的確に捉えた結果、第3四半期は増収となりました。当累計期間の売上高は、第2四半期までの減収により、前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の回復に加えて、固定費の抑制やソリューション提案活動による付加価値向上の取り組みにより、営業利益は前年同期比で増加しました。

EMC (電子部品事業)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	673億円	618億円	△8.1%
営業利益	9億円	15億円	+69.4%

<売上高の状況>

中国での家電や自動車向けの需要拡大に加え、第3四半期には米州での家電を中心とした住宅関連設備等の需要回復が見られました。これらを着実に捉え、第3四半期は増収となりました。当累計期間の売上高は、第1四半期における自動車向け部品の落ち込みが大きく、前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の回復に加えて、固定費抑制や構造改革の成果により、営業利益は前年同期比で増加しました。

SSB (社会システム事業)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	737億円	586億円	△20.4%
営業利益 (△損失)	43億円	△6億円	—

(注) 環境事業のSSBへの移管およびパッケージ事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

<売上高の状況>

交通管制システム事業の更新需要は、おおむね堅調に推移しました。一方で、駅務システム事業においては、顧客の投資抑制が継続しました。エネルギーコンポ事業では、社会活動自粛の影響を受けて蓄電システムの販売が低調に推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

固定費の抑制や付加価値の向上に取り組みましたが、売上高の減少幅が大きく、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	853億円	925億円	+8.4%
営業利益	112億円	169億円	+50.6%

<売上高の状況>

新型コロナウイルス感染症がグローバルで拡大する中で、健康管理、疾病予防を背景として、血圧計の市場が顕著に拡大しました。日本においては体温計の需要も急増しました。外出自粛などによる購買行動の変化を受け、従来から取り組んできたオンラインチャネルでの販売を拡大しました。これらの結果、売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加に加えて、固定費抑制や付加価値向上の取り組みにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

○ 財政状態

当社グループは、持続的な企業価値向上に向けた投資を実行するとともに、資本効率を重視した ROIC 経営を継続しています。

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ91億円増加して、7,672億円となりました。受取手形及び売掛金については、グローバルで債権管理を強化し、新型コロナウイルス感染症による影響の中でも着実に回収しています。たな卸資産については、需要変化に対応した適正な水準を維持しています。

負債の部は、支払手形及び買掛金・未払金や未払費用の減少などにより、前連結会計年度末に比べ224億円減少して、2,032億円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ315億円増加して、5,641億円となりました。

以上により、株主資本比率が前連結会計年度の70.0%から73.2%となり、強固な財務基盤を維持しています。

○ キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

四半期純利益や運転資金の効率的な運用により626億円の収入（前年同期比12億円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

将来の成長に向け必要な設備投資を厳選して実行しました。また、HCBにおいて循環器疾患事業の事業ビジョン「脳・心血管疾患の発症ゼロ（ゼロイベント）」実現を加速させるため、米国のアライブコア社（AliveCor, Inc.）に対して47億円の追加出資を行いました。以上により、投資活動によるキャッシュ・フローは、177億円の支出（AEC譲渡対価収入795億円を除くと前年同期比49億円の支出減）となりました。

なお、当連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを控除したフリーキャッシュ・フローは、450億円の収入（AEC譲渡対価収入を除くと前年同期比61億円の収入増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや、資本効率の向上・株主への利益還元の充実を目的とした自己株式の取得などにより、204億円の支出（前年同期比97億円の支出増）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ259億円増加し、2,114億円となりました。なお、金融機関との間で300億円のコミットメントライン契約を締結しています。また、格付け機関から長期発行体格付けとして「安定的」の高格付けを維持しており、高い資金流動性と調達力を確保しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期の事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下で不透明な状況が続くものの、第3四半期からの回復基調が継続すると想定します。IABでは、好調な中国に加えてグローバルでの製造業の投資再開によって、設備需要は緩やかな回復が継続すると見えています。EMCでは、民生・車載ともに米州や中国を中心にグローバルで回復を見込んでいます。SSBでは、交通管制システムの更新需要が堅調に推移するものの、鉄道業界の投資抑制が継続すると見えています。HCBでは、グローバルでの健康管理意識の高まりによる血圧計や体温計の旺盛な需要の継続を見込んでいます。

以上の事業環境認識のもと、当社グループは回復する需要を的確に捉えるとともに、引き続き売上総利益率の向上に取り組みます。また、固定費コントロールを継続する一方で、来期以降の成長を見据えた重点投資を実行します。

当第3四半期連結累計期間の実績および第4四半期の見込みを反映し、通期業績予想は以下のとおりとします。前回発表予想を上方修正し、営業利益、継続事業税引前当期純利益および当社株主に帰属する当期純利益（下表の（注）参照）は前年比で増益を見込みます。なお、第4四半期の前提為替レートは1米ドル105円、1ユーロ124円、1人民元15.2円です。

	売上高	営業利益	継続事業 税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	6,200億円	400億円	350億円	240億円	118円99銭
今回修正予想(B)	6,450億円	560億円	570億円	400億円	198円32銭
増減額(B-A)	+250億円	+160億円	+220億円	+160億円	—
増減率(%)	+4.0%	+40.0%	+62.9%	+66.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	6,780億円	548億円	518億円	749億円	365円26銭

(注) 前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業にかかる非継続事業当期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益は392億円、これをもとに算定した今回修正予想の対前期増減率は+2.1%、1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は191円00銭です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	447,139	59.0	455,506	59.4
現金及び現金同等物	185,533		211,442	
受取手形及び売掛金	134,786		116,520	
貸倒引当金	△ 759		△ 722	
たな卸資産	104,301		108,527	
売却予定資産	441		-	
その他の流動資産	22,837		19,739	
有形固定資産	114,526	15.1	110,638	14.4
土地	20,446		20,337	
建物及び構築物	129,110		124,762	
機械その他	147,038		150,147	
建設仮勘定	5,467		5,231	
減価償却累計額	△ 187,535		△ 189,839	
投資その他の資産	196,459	25.9	201,068	26.2
オペレーティング・リース 使用権資産	30,327		26,635	
のれん	38,568		37,036	
関連会社に対する 投資及び貸付金	29,251		34,210	
投資有価証券	25,782		33,052	
施設借用保証金	7,486		7,537	
繰延税金	37,416		35,246	
その他の資産	27,629		27,352	
資産合計	758,124	100.0	767,212	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	151,299	20.0	134,065	17.5
支払手形及び買掛金・未払金	64,496		58,050	
未 払 費 用	37,179		32,304	
未 払 税 金	2,516		3,149	
短期オペレーティング・リース負債	11,070		9,930	
そ の 他 の 流 動 負 債	36,038		30,632	
繰 延 税 金	1,717	0.2	1,700	0.2
退 職 給 付 引 当 金	40,236	5.3	37,056	4.8
長期オペレーティング・リース負債	19,820	2.6	17,662	2.3
そ の 他 の 固 定 負 債	12,463	1.6	12,679	1.7
負債の部合計	225,535	29.7	203,162	26.5
(純資産の部)				
株 主 資 本	530,415	70.0	561,672	73.2
資 本 金	64,100	8.5	64,100	8.4
資 本 剰 余 金	100,521	13.3	101,035	13.2
利 益 準 備 金	20,981	2.8	22,923	3.0
そ の 他 の 剰 余 金	451,768	59.6	475,266	61.8
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 83,606	△ 11.0	△ 76,844	△ 10.0
為 替 換 算 調 整 額	△ 31,408		△ 26,535	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 52,250		△ 50,065	
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	52		△ 244	
自 己 株 式	△ 23,349	△ 3.2	△ 24,808	△ 3.2
非 支 配 持 分	2,174	0.3	2,378	0.3
純資産の部合計	532,589	70.3	564,050	73.5
負債及び純資産合計	758,124	100.0	767,212	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 〕		当第3四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		
売 上 高	498,301	100.0	469,570	100.0		
売 上 原 価	273,148	54.8	255,622	54.4		
売 上 総 利 益	225,153	45.2	213,948	45.6		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	150,787	30.3	139,925	29.9		
試 験 研 究 開 発 費	34,268	6.9	31,586	6.7		
営 業 利 益	40,098	8.0	42,437	9.0		
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	△ 2,202	△ 0.5	△ 4,342	△ 1.0		
継 続 事 業 税 引 前 四 半 期 純 利 益	42,300	8.5	46,779	10.0		
法 人 税 等	8,141	1.7	13,101	2.8		
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	1,196	0.2	△ 716	△ 0.1		
継 続 事 業 四 半 期 純 利 益	32,963	6.6	34,394	7.3		
非 継 続 事 業 四 半 期 純 利 益	38,417	7.7	—	—		
四 半 期 純 利 益	71,380	14.3	34,394	7.3		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	379	0.1	482	0.1		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	71,001	14.2	33,912	7.2		

(注) 前第3四半期連結累計期間の四半期純利益および当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益 (AECの売却益を含む) を含めています。

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 〕	当第3四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日 〕
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		71,380	34,394
その他の包括利益（△損失）－税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額		△ 14,038	4,947
退 職 年 金 債 務 調 整 額		20,598	2,185
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益		△ 402	△ 296
そ の 他 の 包 括 利 益 （ △ 損 失 ） 計		6,158	6,836
四 半 期 包 括 利 益		77,538	41,230
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		342	556
当社株主に帰属する四半期包括利益		77,196	40,674

(注) 前第3四半期連結累計期間の四半期純利益には、非継続事業四半期純利益（AECの売却益を含む）を含めています。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 〕		〔 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日 〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 四 半 期 純 利 益			71,380		34,394	
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整						
(1) 減 価 償 却 費		21,705		17,158		
(2) 固定資産除売却損(△益)(純額)		190		△ 586		
(3) 長期性資産の減損		28		—		
(4) 事業売却益	△	52,447		—		
(5) 投資有価証券評価益(純額)	△	2,479		△ 6,393		
(6) 退職給付引当金		874		△ 3		
(7) 繰延税金	△	1,018		1,235		
(8) 持分法投資損益(△利益)		1,196		△ 716		
(9) 資産・負債の増減						
①受取手形及び売掛金の減少		23,625		19,341		
②たな卸資産の増加	△	8,564		△ 3,547		
③その他の資産の減少(△増加)	△	8,028		3,417		
④支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	214		△ 3,770		
⑤未払税金の増加		15,179		602		
⑥未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△	1,042		541		
(10)その他(純額)		1,027		938		
営業活動によるキャッシュ・フロー			△ 9,968		28,217	
			61,412		62,611	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入		1,402		33		
2. 投資有価証券の取得	△	2,200		△ 828		
3. 資本的支出	△	25,108		△ 16,254		
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)		45		△ 51		
5. 有形固定資産の売却による収入		512		1,963		
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加		—		△ 4,975		
7. 事業売却(現金流出額との純額)						
(1) 譲渡価格調整後		64,088		2,453		
(2) 譲渡価格調整による返還予定額		17,856		—		
8. その他(純額)		333		0		
投資活動によるキャッシュ・フロー			56,928		△ 17,659	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)		6,521		△ 1,582		
2. 親会社の支払配当金	△	17,250		△ 16,952		
3. 非支配株主への支払配当金	△	162		△ 352		
4. 自己株式の取得	△	13		△ 1,463		
5. その他(純額)		178		△ 43		
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 10,726		△ 20,392	
IV 換算レート変動の影響			△ 9,727		1,349	
現金及び現金同等物の増減額		97,887		25,909		
期首現金及び現金同等物残高		110,250		185,533		
四半期末現金及び現金同等物残高		208,137		211,442		
非継続事業に係る四半期末現金 及び現金同等物残高(控除)		—		—		
継続事業に係る四半期末現金 及び現金同等物残高		208,137		211,442		
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額		180		92		
2. 法人税等の支払額		13,701		12,905		
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務		7,419		434		

(注) 前第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フロー計算書上、非継続事業のキャッシュ・フローは独立表示せずに継続事業のキャッシュ・フローと合算して表示しています。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

2021年3月期より、有形固定資産の減価償却方法についてこれまで定率法を採用していた当社および国内連結子会社につきまして、定額法に変更しています。

当社グループは、これまで、2011年にスタートした長期ビジョン「Value Generation 2020」および中期経営計画(VG2.0)の成長戦略に基づき、注力ドメインであるIAB(制御機器事業)、HCB(ヘルスケア事業)およびSSB(社会システム事業)を中心に生産・開発拠点への投資を実施しており、前連結会計年度には、当社野洲事業所及び桂川事業所の増築やオムロンヘルスケア株式会社松阪工場の建替えを行いました。また、EMC(電子部品事業)では、グローバル生産体制の構築のために生産拠点統廃合や生産ラインの集約などを進めました。さらには、AEC(車載事業)の売却などによる事業ポートフォリオの見直しも進めてきました。これらの結果、今後、当社および国内連結子会社における設備の安定的な稼働と、設備投資や修繕維持費の平準化が見込まれます。

以上の状況を契機として、定額法による減価償却方法が、安定的な設備の稼働が見込まれる有形固定資産の使用実態をより適切に反映する方法であると判断し、変更を実施しました。なお、この減価償却方法の変更については、FASB会計基準書250「会計上の変更及び誤謬の修正」に基づき会計上の見積りの変更として取扱い、変更による影響は将来にわたり認識されます。

この変更により、従来と比較して当第3四半期連結累計期間の減価償却費は1,461百万円減少し、当社株主に帰属する四半期純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ1,089百万円および5円40銭増加しました。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	265,415	67,292	73,663	85,319	491,689	6,612	498,301
(2)セグメント間の内部売上高	4,020	33,617	6,832	349	44,818	△ 44,818	—
計	269,435	100,909	80,495	85,668	536,507	△ 38,206	498,301
営業費用	228,777	100,000	76,169	74,428	479,374	△ 21,171	458,203
営業利益 (△ 損失)	40,658	909	4,326	11,240	57,133	△ 17,035	40,098

(注) 環境事業のSSBへの移管およびハックイト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	252,886	61,831	58,634	92,474	465,825	3,745	469,570
(2)セグメント間の内部売上高	3,511	31,350	5,879	228	40,968	△ 40,968	—
計	256,397	93,181	64,513	92,702	506,793	△ 37,223	469,570
営業費用	214,514	91,641	65,149	75,769	447,073	△ 19,940	427,133
営業利益 (△ 損失)	41,883	1,540	△ 636	16,933	59,720	△ 17,283	42,437

(注) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、2021年3月期より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。この変更による営業費用の前期比減少額 (IAB 297百万円、EMC 277百万円、SSB 226百万円、HCB 222百万円、消去調整他439百万円、合計1,461百万円) につきましては、各事業セグメントに配賦せず、全額を消去調整他に計上しています。

[所在地別売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	103,616	16,831	73,114	18,918	212,479	5,471	217,950
米州	24,347	10,290	—	16,306	50,943	—	50,943
欧州	53,097	11,068	—	15,902	80,067	—	80,067
中華圏	54,458	19,440	188	25,639	99,725	1,130	100,855
東南アジア他	29,727	9,523	—	8,198	47,448	—	47,448
直接輸出	170	140	361	356	1,027	11	1,038
計	265,415	67,292	73,663	85,319	491,689	6,612	498,301

(注) 環境事業のSSBへの移管およびハックイト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	91,114	14,928	58,447	21,871	186,360	3,392	189,752
米州	20,615	8,906	—	17,807	47,328	—	47,328
欧州	46,186	8,988	—	16,488	71,662	—	71,662
中華圏	66,406	21,210	157	26,546	114,319	341	114,660
東南アジア他	28,505	7,706	—	9,442	45,653	—	45,653
直接輸出	60	93	30	320	503	12	515
計	252,886	61,831	58,634	92,474	465,825	3,745	469,570

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州
- (5) 直接輸出……………直送輸出取引

3. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	498,301	469,570	94.2%	677,980	645,000	95.1%
営業利益 (率)	百万円 (%)	40,098 (8.0%)	42,437 (9.0%)	105.8% (+1.0P)	54,760 (8.1%)	56,000 (8.7%)	102.3% (+0.6P)
継続事業税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	42,300 (8.5%)	46,779 (10.0%)	110.6% (+1.5P)	51,836 (7.6%)	57,000 (8.8%)	110.0% (+1.2P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	71,001	33,912	47.8%	74,895	40,000	53.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	345円74銭	168円13銭	△177円61銭	365円26銭	198円32銭	△166円94銭
総資産	百万円	800,255	767,212	95.9%	758,124		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	570,814 (71.3%)	561,672 (73.2%)	98.4% (+1.9P)	530,415 (70.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,779円59銭	2,785円09銭	+5円50銭	2,626円62銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	61,412	62,611	+1,199	89,787		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	56,928	△17,659	△74,587	28,639		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△10,726	△20,392	△9,666	△29,430		
継続事業に係る四半期末現金及び 現金同等物残高	百万円	208,137	211,442	+3,305	185,533		

(注1) 連結子会社数は126社、持分法適用関連会社数は17社です。

(注2) 2020年3月期第3四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益には、非継続事業四半期(当期)純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業四半期(当期)純利益を除いて算定した2020年3月期第3四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益と1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益は次のとおりです。

非継続事業四半期(当期)純利益を除いた当社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期第3四半期 326億円(2021年3月期第3四半期における前年同期比 104.1%)

2020年3月期 392億円(2021年3月期予想における前期比 102.1%)

非継続事業四半期(当期)純利益を除いた1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期第3四半期 158円67銭(2021年3月期第3四半期における前年同期比 9円46銭)

2020年3月期 191円00銭(2021年3月期予想における前期比 7円32銭)

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB	日本	1,036	911	87.9%
	米州	243	206	84.7%
	欧州	531	462	87.0%
	中華圏	545	664	121.9%
	東南アジア他	297	285	95.9%
	直接輸出	2	1	35.3%
	計	2,654	2,529	95.3%
EMC	日本	168	149	88.7%
	米州	103	89	86.6%
	欧州	111	90	81.2%
	中華圏	194	212	109.1%
	東南アジア他	95	77	80.9%
	直接輸出	1	1	66.4%
	計	673	618	91.9%
SSB	日本	731	584	79.9%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	2	2	83.5%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	4	0	8.3%
	計	737	586	79.6%
HCB	日本	189	219	115.6%
	米州	163	178	109.2%
	欧州	159	165	103.7%
	中華圏	256	265	103.5%
	東南アジア他	82	94	115.2%
	直接輸出	4	3	89.9%
	計	853	925	108.4%
消去調整他	日本	55	34	62.0%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	11	3	30.2%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	0	0	109.1%
	計	66	37	56.6%
合計	日本	2,180	1,898	87.1%
	米州	509	473	92.9%
	欧州	801	717	89.5%
	中華圏	1,009	1,147	113.7%
	東南アジア他	474	457	96.2%
	直接輸出	10	5	49.6%
	計	4,983	4,696	94.2%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第3四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB	407	419	103.0%
EMC	9	15	169.4%
SSB	43	△6	—
HCB	112	169	150.6%
消去調整他	△170	△173	—
合計	401	424	105.8%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第3四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(4) 期中平均為替レート実績

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比
米ドル	109.1	106.2	△2.9
ユーロ	121.3	121.8	+0.5
人民元	15.7	15.3	△0.4

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	3,528	3,400	96.4%
EMC	884	840	95.1%
SSB	1,160	930	80.2%
HCB	1,120	1,220	108.9%
消去調整他	89	60	67.8%
合計	6,780	6,450	95.1%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	536	550	102.6%
EMC	9	25	272.3%
SSB	109	50	46.1%
HCB	135	200	148.0%
消去調整他	△241	△265	—
合計	548	560	102.3%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(7) 期中平均為替レート予想

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
米ドル	109.1	105.9	△3.2
ユーロ	121.2	122.4	+1.2
人民元	15.7	15.3	△0.4